

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Premiumucare CODOMODUSみやび		
○保護者評価実施期間	R7年1月4日		～ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月5日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援と小グループ支援をお子様の希望や発達課題にあわせて組み合わせて支援を行なっている。	お子様やご家族とコミュニケーションを取り、情報共有しながら支援内容を決定している。 集団のなかでもお子様の個性を大切にプログラムや支援を行なっている。	集団の中でもお子様それぞれの希望や思いを聞く機会を必ず作り、個々を大切に支援していきたい。
2	お子様が自分の居場所として安心して過ごせるような関わりと環境づくりを徹底している。	お子様の好きな事や得意な力を使って、自分を自由に表現することを楽しみ、興味のあることにチャレンジできる環境を整えている。 お子様の発言や行動等をしっかりと受け止め丁寧にアセスメントを行い、ご本人が望む支援を提供できるようにしている。 集団の中でお互いに心地いい空間を作っていくようにお子様同士の関わり方の支援や過ごし方、ルールなどを事前に確認するなどの工夫を行っている。 お子様それぞれの目標をご本人が主体的に決められるように、意思決定の機会を作っている。 ご家族との情報共有を丁寧に行っている。	どんな時も内なる自分を表現することを楽しみ自信を持って個性を發揮できるように支援していきたい。 お子様の気持ちや意志決定を尊重し、やりたいことや得意としていることを満足して楽しめるように環境を整えることに引き続き取り組んでいく。 自分の居場所という安心できる環境の中で人と関わる具体的な方法やコツ、社会のルールを知って実践的に取り組む等より良い人間関係を築く力を育てていきたい。
3	それぞれの支援員の専門性を活かした支援を行なっている。 また職員間の連携が密でありチームの総合力で支援を行なっている。	職員がお互いの専門性を理解するように努めている。そのため普段からお子様の様子や支援内容、それぞれの考えや思いについて頻りに話し合い意見交流しているので職場環境が良い。 幅広い内容でお子様の希望や必要性に応じて支援をしている。	次年度は学習会とは別に交流会などを企画していく。きょうだい支援については、取り組みについて必要なご家族にお声かけし、具体的な希望などを保護者様に確認していく。 次年度の学習会できょうだい支援をテーマに取り上げる予定。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上室内や空間が狭く段差や階段があり、支援内容や人数にあわせて部屋の使い方の工夫が必要である。	人数、活動内容によって、部屋の間仕切りなどを工夫してスペースを作っている。 安全面の確保のため注意書きをしたり、物品を整理するなど、快適にご利用いただけるように工夫をしている。(ホワイトボードで活動場所を示す、靴をそろえる場所にイラスト表示、荷物置き場の設定)	整理整頓、構造化を心がけていく。 小グループでの活動が増えてきたこともあり、活動内容、人数、職員配置など考慮しながら引き続き環境整備と部屋の使い方の工夫を行う。
2	各種マニュアル、安全計画など緊急時の対応、保護者会の開催などの取り組みについてのお知らせが不十分である。	災害時や緊急時の対応についてのマニュアルを常時閲覧できるようにしたり掲示板でお伝えし、訓練についてはお子様の支援記録に記載したりその他事業所での取組やご案内をメール、SNSなどでお知らせするなど様々な方法をとっているが、周知徹底に至っていない。	情報発信のやり方を見直し、必要なことがきちんと伝わるようにご家族が来所された時に口頭での説明を徹底する等、事業所での取り組み内容を具体的にお知らせする工夫を行う。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者学習会やペアレントトレーニングは年に何回か実施しているが、当事業所の保護者会は学習会要素が強いこともあり保護者交流の場としては不十分である。きょうだいへの支援はご希望があった場合心理職が中心となり具体的な困り事や関わり方について支援の時間を作っているが取り組みが周知できていない。	次年度は学習会とは別に交流会などを企画していく。きょうだい支援については、取り組みについて必要なご家族にお声かけし、具体的な希望などを保護者様に確認していく。 次年度の学習会できょうだい支援をテーマに取り上げる予定。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Premiumucare CODOMODUSみやび

公表日 R7年3月8日

利用児童数 R7年2月28日現在2名

回収数

1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1				
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		1			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	Premiumucare CODOMODUSみやび		公表日		R7年3月8日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		グループ支援では、人数、活動内容によって、部屋の間仕切りなどを工夫してスペースを作っています。	活動内容によっては部屋が狭い時もありご不便をおかけしております。活動内容と部屋の広さの調整を今後も徹底していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる数を配置しています。またグループ支援や個別支援の組み合わせで支援する場合など状態に合わせて職員の配置数を増やすなどの工夫をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○(△)		施設の間取りや構造の狭さがあり、ご不便をおかけする時がありますが、安全面の確保のため注意書きをし、快適にご利用いただけるように配慮する等の工夫をしています。(ホワイトボードで活動場所を示す、靴をそろえる場所にイラスト表示、荷物置き場の設定)	建物の構造上、改善ができていない場所もありますが、整理整頓、構造化に心がけていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○(△)		施設の間取りや構造の狭さがあり、ご不便をおかけする時がありますが、安全面の確保のため注意書きをし、快適にご利用いただけるように配慮する等の工夫をしています。お子様の活動内容に合わせて部屋の使い分けを行っています。	毎日の清掃や消毒を徹底し清潔な空間作りを行っていますが、部屋の作りが狭く、ご不便をおかけしております。グループでの活動が増えてきたこともあり、活動内容、人数、職員配置など考慮しながら引き続き環境整備を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援の希望者も多く、個別支援が常に行っている状況にしています。またクールダウンに使える小さなスペースもあり、必要に応じて使用できるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングや定期的にケースカンファレンスを実施し、支援内容の見直しを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へのアンケートを実施し、結果をもとに業務改善に向けてのミーティングを行い、アンケート調査の結果を踏まえ、業務改善に向けた見直しを行っています。また保護者様の来所時に面談や相談をお受けし意向やニーズの把握を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に職員間で話をする機会を持ち、意見を自由に出し合う職場環境になっています。そこででた意見を元に必要に応じて業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		R6年度は虐待防止、対人援助、メンタルヘルス、発達障害を取り巻く現状などについての社内外外部開催の研修を開催、受講しました。研修情報を職員に通知し参加を推奨しています。またそれぞれの職員が参加してきた研修の内容・資料を職員間で共有し現場で活用しています。	出勤日数が少ない非常勤職員の研修参加に制限があり、それぞれに研修参加の重要性を理解してもらいを積極的に参加を促していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはお子様や保護者の希望やニーズを踏まえて職員間で話し合いのもとに作成しています。自己評価結果を事業所の掲示板に掲示し、またホームページ上でも公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングやアセスメントを行い、お子様や保護者様のニーズも踏まえて支援内容を決定し計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		当事業所は個別支援も実施していることもあり、特定の職員に負担がかかったり、その職員しかお子様の様子を把握していないということが起こらないように、報告連絡相談を徹底し、職員間で支援方針や目標を共通理解しながら計画を作成しています。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書は職員間に共有し、計画をもとにそれぞれが支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを使用し（こども家庭庁）、フォーマル、インフォーマル双方から健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5領域についてアセスメントを行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則って支援に必要な項目や支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のお子様の状況を共有し、プログラム立案・修正などを職員間で話し合い実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様のその日の状態や発達特性を踏まえてプログラムを組み、固定化しないように工夫、実施をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		R6年度は個別中心の支援からグループ支援の移行が増えましたが、変わらずに個別支援を希望されるケースについてはお子様の発達特性やニーズに合わせてできる限り希望通りの支援が受けられるように工夫しています。	法改正により個別支援の枠を減らすことになってしまいましたが、お子様の発達の状態や特性によっては、個別支援の場は大切であると考えています。希望に応じて個別支援と集団支援の組み合わせを柔軟に行い、お子様にとって必要な支援環境を作りたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前、支援終了後には職員間で情報共有や支援内容についての情報意見交換や次に向けての支援内容の話し合いを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援開始前、支援終了後には職員間で情報共有や支援内容についての情報共有や近況の様子などの報告などを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容の記録をとり、その内容を職員間で共有しお子様の成長や変化に応じてプログラムの変更、充実をはかっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとにモニタリングと支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者、お子様の支援を担当する児童指導員、療法士が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に関係機関との連携をしながら支援体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関との連携を必要に応じて実施しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		しばらく該当するケースは出ていませんが常時情報提供できる体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

連携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの研修会に参加し、発達検査の結果や必要なお子様に対しての関わりのアドバイスをいただいています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	日々のお子様の支援状況の中で外部の施設との交流が難しく積極的な実施はしておりません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回のセッション終了後に担当職員から保護者様へ向けて、お子様の様子や課題などの情報提供を行い共通理解に努めています。またセッション時の記録もご確認いただいています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		お子様への関わり方などについて相談を受けたり実践方法のアドバイスをラスキルアップ講座を実施したり、必要に応じて支援を行なっています。今年度はペアレントトレーニングを3回実施しました。また言語聴覚士より読み書き支援の実践についてや高校卒業後の進路選択についての学習会を開催しました。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明しています。また利用料については施設内の掲示にも掲示し随時更新してお知らせをしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子様やご家族の意向、意思を日々の支援の機会にコミュニケーションをとって確認し、計画に反映させています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書をみながら目標と支援内容の説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時面談や相談を受ける体制を整えており、相談があった場合は助言や支援を検討実施できるように努めています。今後も安心してご利用いただけるように配慮していきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		毎年保護者学習会を開催しておりますが、当事業所の保護者会は学習会要素が強いこともあり保護者交流の場としては不十分であると思います。きょうだいの支援はご希望があった場合心理職が中心となり具体的な困り事や関わり方について支援の時間を作っております。	次年度はご希望のある保護者様対象に交流会などを企画していきます。きょうだい支援については、取り組みについて必要なご家族にお声かけしていきます。また具体的な希望などを保護者様に確認していきます。次年度の学習会できょうだい支援をテーマに取り上げる予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談対応マニュアルを策定し相談や申し入れがあった場合は適切に対応できるように整備しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回のスケジュールに関することや保護者様に向けての様々なご案内をLINEや個別メールでお知らせし、事業所掲示板では新しい活動内容や心理士の通信などのお知らせをしています。セッションの様子やアート作品はSNSやYouTube上に発表の場をもうけています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の記載があるカルテやファイルは鍵付きの書庫に保管しています。PC端末はパスワード設定する等の管理をしています。SNSにお子様の作品等を掲載する場合は保護者様・お子様と事前に話し合い、必要に応じて写真を加工したり同意書をいただき、安全の管理を徹底しています。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		セッション内容や方向性などについて保護者様と直接お話をしたり連絡をとり、セッションの様子を共有するためにお子様のセッションの様子を記録を確認捺印していただいております。お子様に対しては絵や図の利用など視覚的に理解しやすい手段の工夫などを行い対応しています。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		アート活動では昨年度に引き続き、作品展と日頃の活動の発表会を開催します(3月24日)。R7年度も音楽やアート、その他の活動で地域に発信していく機会をつくっていきます。		



非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを査定し、職員やご家族に周知しています。保護者様へ向けては契約時にご説明と随時確認できるように全てのマニュアルをとじた保護者様用ファイルを保護者向けスペースに設置しています。個別・グループで防災教育、避難訓練、災害時の対応の説明も定期的にて実施しています。	各種マニュアルについては徹底した周知には至っていないため、改善に向けて努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを査定し、通常の避難訓練や感染症対策に合わせて研修と訓練、シュミレーションを行っています。	全ての職員が防災グッズの中身と保管場所、備蓄品の把握、感染症まん延時に即対応できるように徹底していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	お子様の持病やそれに対する対応方法、注意点など保護者様から共有いただき、配慮しながら支援を行っています。また服薬に関しても把握するように努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時のお渡しするインテークシートや保護者様への個別対応の中でアレルギーの有無などの情報を把握しています。また料理教室においては食材選定を厳密に行いアレルギー対応可能なものを選ぶように努めています。また料理教室における運営マニュアルを策定しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を策定し、研修を実施しました。安全については日々職員間で気がついたことを共有し、それを元に必要な措置を講じています。	改善点や不十分な箇所もあるため、常に内容の見直しの姿勢で計画を充実させていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全のために事前に緊急連絡先やルートの把握と共有を行っています。また災害時の対応も含めて「安全計画における避難経路、緊急時対応シート」を作成し、必要な情報をご記入いただく工夫を行っています。	安全計画を掲示板に貼り、常時確認できるようにしていますが、告知が十分ではなく、周知が不十分であることが課題です。事業所での取り組み内容を具体的にお知らせする工夫を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	マニュアルを策定し、報告等が速やかに行えるようにしています。またヒヤリハット事例については毎月確認し、職員間で共有し対策を検討するなどの体制をとっています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会を設置し、定期的に委員会の開催や研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束適正化委員会や身体拘束防止研修を実施し、身体拘束を行うときの3要件、留意点や手続き、記録などについて周知徹底しています。現在身体拘束該当の利用者はおりません。		